

寄宿舎だより

新潟県立長岡聾学校 寄宿舎

令和7年3月7日発行



きしゆくしゃはかせ 寄宿舎博士になろう パート2

きょうとう みむら ようこ
教頭 三村 陽子

もうすぐ、令和6年度が終わります。寄宿舎での生活はどうでしたか。今年度、長岡聾学校は120周年を迎えました。寄宿舎は、学校が創立した年と同じ、明治38年10月8日、2名の舎生が入舎して始まったそうです。長岡聾学校の寄宿舎も120才になりました。

当時の寄宿舎は、使わなくなった中島小学校の校舎を少し改装して利用したため、ほこりっばいうえに暑さや寒さはかなり厳しかったこと、寄宿舎に風呂はなく、銭湯まで歩いて行っていたことなどの記録が残っています。

2名の舎生ではじまり、大勢の先輩が生活した寄宿舎。120年という長い長い歴史に思いを馳せてみてはどうですか。



せつぶん 節分



2025年は、2月2日が「節分」でした。節分とは、季節の変わり目に悪いものを追い払い、良いものを迎え入れるための行事です。

そこで舎生、職員も「自分の中にいる鬼」について考えて、寄宿舎玄関前にやっつけたい鬼を掲示しました。この一年をよりよく過ごすために、それぞれが向き合ったのは、「すぐに怒ってしまう鬼」「なかなかやる気がでない鬼」などさまざまな鬼たちです。

「鬼は外！」と声に出して、自分の中の鬼を追い出し、「福は内！」とともに「優しい心」「やる気」など、新しい自分を迎え入れる気持ちを込めました。今年一年、みなさんも前向きな気持ちで過ごしていきましょう。



「行ってみたいところ」
「こんな物があったら
いいな～」

小学部6年 男子

僕は、みんなで日赤病院の前にあるリバーサイド千秋に行きたいです。理由は、みんなでクレンゲームや買い物をしたいからです。僕は、2回だけ行ったことがあるけど、おもしろかったのでみんなで行きたいです。

高等部1年 男子

私がこんな物があたらいいなと思う物は、自動で料理を作れる機械です。理由は、毎週末、家に帰ったら自炊していて、たまに作るのが「めんどくさいな」と思うときがあるからです。もしあったら、とんかつが食べたいなあ



たいしゃせい 退舎生のあいさつ

小学部4年 男子

寄宿舎に4年間泊っていましたが、これでおわかれです。一番の思い出は昨年の2学期のお楽しみ会で、ラーメンを食べておいしかったことです。次の学校では算数の成績をもっとよくできるようにがんばります。ありがとうございました。

小学部6年 女子

今まで二年半の間過ごしてきた寄宿舎にお別れするのがとてもさびしいです。でも、このさびしさの代わりに、次の新しい中学校では、勉強をもっとがんばりたいです。

小学部5年 女子

行ってみたいところは、宮崎県と京都府です。理由は、マンゴーと抹茶を食べたいからです。

小学部5年 女子

私は、ディズニーシーのラプンツェルとアナと雪の女王とピーターパンの新しくできたエリアに行ってみたいです。暗くてこわい乗りものにもちょうせんしてみたいです。家族みんなで新かんせんに乗って、また旅行するのが楽しみです。

中学部3年 男子

行ってみたいところは、もう一回「レストランナカタ」に行きたいです。理由は、初めてレストランナカタに行って注文したカレーを食べてみたら、美味しくてもう一回食べたいと思ったからです。

高等部1年 女子

私の行ってみたいところは、フランスやイタリアです。理由はおしゃれなところでもあり、景色が綺麗だからです。ファッションショーを行うことが多い所なので憧れがあります。そこでカフェやショッピングにも行ってみたいです。

1年間の思い出

今年も寄宿舍で
たくさんの思い出が
できました